

大阪大学夏期海外研修 2011年度マヒドン大学 短期訪問プログラム募集要項

2011年5月12日

文学部・文学研究科、法学部・法学研究科、経済学部・経済学研科
人間科学部・人間科学研究科、外国語学部・言語文化研究科
(本プログラムは大阪大学バンコク教育研究センターが支援しています)

毎年、大阪大学文系5学部と5研究科では、タイ王国マヒドン大学インターナショナルカレッジの協力を得て、アジアの文化を学ぶとともに英語能力の向上を図る研修プログラムを実施しています。

マヒドン大学は、タイの首都バンコク郊外にあり、1890年に病院併設の医学部として発足し、1943年に医科大学、1969年に総合大学となりました。1998年には、大阪大学と学術交流協定が締結され、研究交流や学生交流が数多く実施されています。マヒドン大学は英語の教育に熱心なことで有名ですが、なかでもインターナショナルカレッジは、帰国子女や近隣国からの留学生などを多く受け入れ、学部4年間すべて英語で授業を行っています。



今回の研修は、このインターナショナルカレッジの全面的な協力を得て、語学プレカレッジのカリキュラムをベースに、特別に作られたプログラムにより行われます。経験豊富な講師による英語のクラスに加えて、タイの文学・経済・社会学などの紹介や、週末にはタイの学生と交流しながらタイの遺跡などを訪問します。さらに歓送迎会も予定しています。

1. 研修期間

2011年8月4日(木)～8月26日(金)
(24日間、ただし8月27日(土)朝、関西空港着)

2. 研修場所

マヒドン大学・インターナショナルカレッジ(タイ王国)
<http://www.muic.mahidol.ac.th/eng/>

3. 研修プログラム（予定）

英語講座（４８時間）、タイ講座（２６時間）
社会見学（リゾート地ホアヒン、バンコク市内、古代遺跡アユタヤ）
現地タイ人学生との交流会、歓送迎パーティー等

4. 研修費用（予定）

研修費（授業料、宿泊費等）	約	220,000	円
旅費（航空券、旅行保険等）	約	130,000	円
合計	約	350,000	円

***参加人数、燃料費、為替等によって変動します。**

* 研修費には、英語講座およびタイ・スタディーの受講料、テキスト代、空港送迎費、社会見学费（一部個人負担）、パーティー食費などが含まれます。

* 旅費に含まれる海外旅行傷害保険には必ず加入していただきます。この他に、関西空港までの交通費、宿舎から大学までのバス代、電話代等は個人負担となります。

* 本プログラムは、本学の「学生海外研修プログラム等助成」に申請する予定ですので、承認されれば一人当たり最高35,000円が支給できます。

5. 募集人数

20名

* 原則、各学部・研究科4名を定員とします。応募者多数の場合、各学部・研究科での選考になります。ただし、全体の応募者が20名に満たない場合はこの限りではありません。

6. 応募資格

文学部・文学研究科、法学部・法学研究科、経済学部・経済学研科、人間科学部・人間科学研究科、外国語学部・言語文化研究科の正規生。

* 原則として海外留学未経験者。

* 英語能力の目安としては、TOEFL450点（TOEFL iBT45点）以上が望ましい。

7. 応募書類

- 1) 参加申込書（所定用紙、KOANでダウンロードし、Excel等で作成すること）
- 2) 英語能力を証明する書類（TOEFL, TOEIC, 英検などあれば、コピー可）

8. 応募受付

2011年5月12日（木）～ 5月27日（金）午後5時

提出先：所属学部・研究科教務係

9. 参加者決定

2011年6月下旬

応募書類に記載された連絡先のメールまたは電話で通知します。

10. 備考

- 1) 日本からの引率予定はありませんが、関西空港集合のサポート、タイ現地での大阪大学の日本人スタッフのサポートがあります。
- 2) 本研修は、関西空港集合・解散として、途中の参加や帰国等は認めません。
- 3) 参加者には、事前オリエンテーション（3回予定）に参加していただきます。
- 4) 参加者には、保護者の承諾書を取っていただきます。
- 5) 本研修終了後に、報告書（A4紙1枚程度、日本語と英語）を提出していただきます。
- 6) 外務省による「タイに対する渡航情報（危険情報）」等に当たって、研修が中止されることがあります。

本研修についての問い合わせ先

大阪大学経済学研究科 金澤

TEL: 06-6850-5271 E-mail: kanazawa@econ.osaka-u.ac.jp